

山村強靱化林道整備事業 高倉山線（石川県白山市）



<事業の目的>

近年、豪雨・台風災害が激甚化・頻発化する中で、持続的な森林経営の実現に向けて強靱で災害に強い幹線林道において早急に整備（改良）を行う。

<林道高倉山線> 改良（法面改良）

木滑地区と中宮地区を尾根伝いに連絡し、豊富な森林資源を効率的に整備する目的で整備された基幹林道であり、災害時のライフラインとして機能する重要な路線として法面の脆弱な箇所を整備し、通行車両の安全性を確保する。

【森林整備状況】



<森林整備状況>

豊富な森林資源を計画的に間伐し、車両系システムにより林道高倉山線を幹線として効率よく木材生産拠点へ搬出

【整備箇所】 法面改良

<被害状況>

近年の豪雨や既設法面の老朽化により、落石被害が頻発し、通行車両の安全性確保が困難な状況



【整備後イメージ】 簡易吹付法砕工

<整備方針>

落石対策として簡易吹付法砕工により法面を整備し、車両の通行安全性を確保

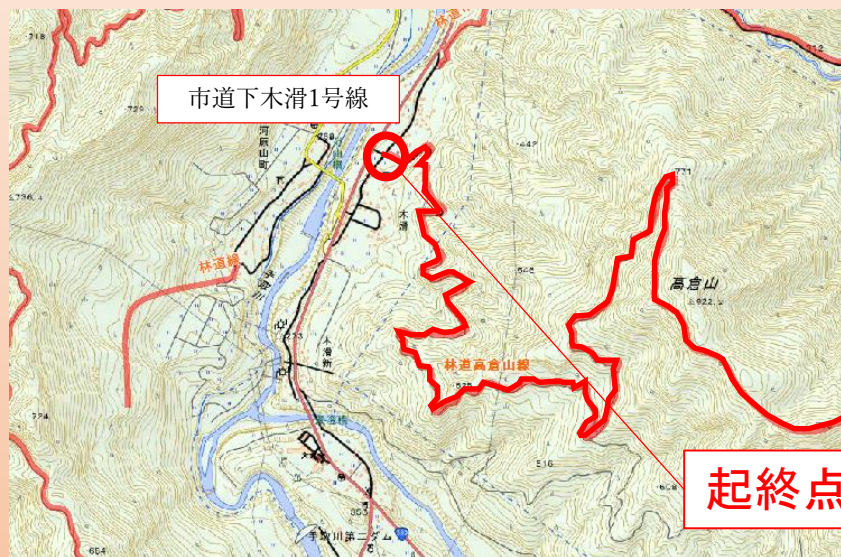


山村強靱化林道整備事業

高倉山線(白山市)

<起点>市道下木滑1号(白山市)

<終点>市道中宮15号(白山市)



緊急時の避難路として

終点側

地震等災害により、国道、市道が被災し集落が孤立

